

部活動などの活躍

《女子バスケットボール部》

荒川区中学校バスケットボール夏季大会

第3位

《男子バスケットボール部》

荒川区中学校バスケットボール夏季大会

テーブルオフィシャル賞



左:女子バスケットボール部の皆さん
右:男子バスケットボール部の皆さん



《パソコン部》

第19回毎日パソコン入力コンクール6月大会

第5部和文A中学生部門入賞

第2部ローマ字部門入賞



南千住マスターのコーナー

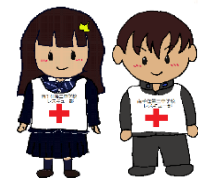
さ、この瑞光石が由来と言われています。さて、この瑞光石にまつわる、こんな言い伝えがあります。万延元年(1860)編纂の『江戸近郊道しるべ』という書物によると、瑞光石の根元は隅田川まで伸びており、千住大橋を築く時に橋脚が打ち込めなかったというのです。そのため、千住大橋の橋脚は間隔が不揃いだというわけですね。4月号、5月号で紹介した「片目の大鯰の通り道」や「千住大橋の亀の間」にも通ずるものです。いずれにしても千住大橋架橋が大変な難工事だったことが、こうした言い伝えを残しているのだろうと思われそうです。また、この瑞光石は、古墳の一部だろうという説もあります。この一帯に「古墳群」があったとされる説もあります。私たちの南千住って調べると調べるとすごいですよ。

すみだ川妖怪絵巻 その4 『瑞光石の根』(素盞雄神社)

今回は妖怪ではありませんが、南千住の人ならば誰でも知る、「瑞光石」にまつわるお話です。「瑞光石」は素盞雄神社の境内に祀られている奇岩です。社伝によれば、修験道の開祖・役小角の高弟である黒珍という人物が、住居の東方にある奇岩の頂上を霊場として日夜齋戒礼拝していた所、延暦14年(795)年4月8日の夜、小塚の中の奇岩が突如光りを放ち、スサノオ大神、アスカ大神の二柱の神が老人の姿を借りて降臨し「吾れを祀らば疫病を祓い、福を増し、永くこの郷土を榮えしめん。」との御神託を授けられ、黒珍が祠を建てたのが素盞雄神社のはじまりであるとされています。この「小塚」から「小塚原」の地名も生まれてきました。また、南千住一帯が瑞光地区と呼ばれるのも、この瑞光石が由来と言われています。



題字:校長 齊藤 進



ナンちゃん・ニーくん



学校だより

令和元年7月号

第97号

荒川区立南千住第二中学校

落としてはいけない 4つのこと

校長 齊藤 進

「8803系の都電には他の都電にない特徴があるがそれは何か」「公春院が開山したのは1627年である。〇か×か」「西光寺のとなりにかつてあったものは何か」。これは先日行われた校内めぐりのひとコマです。7月5日に南千住の歴史を3年生が1年生に紹介する校内地域めぐりが各教室やアリーナ等で行われました。



3年生は事前学習で培った知識をタブレットPCや電子黒板等を駆使しながら1年生に南千住の歴史を伝えました。歴史の臨場感を再現しようと神などの衣装を身にまとうってジュエチャーを交えながら説明する3年生もいて大変に盛り上がった行事となりました。

こうした行事を含め、1学期は運動会、下田移動教室、修学旅行、勤労留学等大きな行事がたくさんありました。生徒の皆さんはどの行事にも一生懸命取り組み素晴らしい思い出ができたことと思います。

さて、もうすぐ夏休みを迎えます。夏休みは1学期を振り返り、2学期に向けて充電する期間でもあります。プールや補充教室、部活動等にも積極的に参加しましょう。3年生は進路を考える重要な時期となります。オープンキャンパス等にもできるだけ参加し自分の目で確かめることも大切だと思います。また、中学生被災地派遣、ワールドスクール、三首都交流、トレセン等に参加する生徒は普段できない体験となりますので素晴らしい成果を期待します。

最後に夏休み中、落としてはいけないこととしてつぎの4つのことを心に留めてください。

- ①命
- ②学力
- ③体力
- ④品格

2学期の始業式には元気で一段と成長した姿を見せてください、期待しています。

冒頭の「8803系の都電には他の都電にない特徴があるがそれは何か」の答えは、つり革がハートの形をしているそうです。8803系の都電はピンク色の電車です。

6月5日(水)、1年生の「地域学習」が、南千住第二中学校にまつわる歴史や地域の伝説の学習からはじまりました。南千住二中の玄関前にある**火力発電所の史跡を示す看板や電柱**の前では野口先生から、“電柱にはその地の古い町名が表示されている”ことなどの説明がありました。

1階ホールにある火力発電所やスカイツリーの模型の前では、特別講師の中陳先生から「おぼけ煙突と呼ばれた千住火力発電所や日本初の毛織物工場の千住製絨所」などの話を聞きました。そして**片目の大緋鯉、千住大橋の大亀、牧の野の大蛇の御輿**などを回り、長田先生から隅田川にまつわる妖怪伝説についての話を聞きました。南千住第二中学校の歴史や地域に伝わる伝説の数々に1年生は興味を持ち、自分が生まれ育った街についての学習に期待が高まりました。

6月26日(水)と28日(金)の2日間には、南千住の白地図の上に史跡や文化財を示すシールを貼る「**地図で探そう**」を実施。班ごとに考えたり話し

合って約40ヵ所の史跡・文化財の場所を探しました。南千住検定本で調べたり、班員で話し合い、皆で力を合わせて取り組みました。

そして、7月5日(金)には3年生が南千住地域の歴史や文化について1年生に説明を行う「**校内地域めぐり**」が行われました。1年生の地域学習を応援するために、3年生は37グループに分かれて、全員でアイデアを出し合い、色々な工夫をして準備をしてきました。1年生は班ごとに、1、2階の教室やホール、アリーナに設けられた37ヵ所のブースを見て回りました。史跡の由来を劇で紹介したり、歴史や文化について紙芝居やクイズ、またタブレットで画像を映すなどしてわかりやすく趣向を凝らした演出に1年生はわくわくしながら、楽しく、そして真剣に学ぶことができました。3年生から説明を受けるともらえるマイスターシールを20個近く集めた班もありました。1年生の地域学習への関心はさらに高まったようです。これからも南二中の伝統である「**南千住の歴史を語る南二中生**」を目指して**地域学習**を行っていきます。3年生の皆さん、ありがとうございました。

校舎内や周辺の展示物にまつわる歴史や伝説から地域学習がはじまりました。

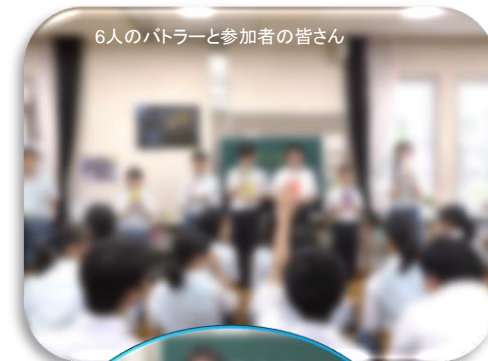


真剣な表情で3年生の説明に聞き入る1年生の皆さん



3年生が地域を語る！

南千住地域には、たくさんのお寺や神社、古くから多くの人々が往来した有名な通り、かつて大規模工場が建ち並び、野球や演芸が開催された施設の跡地などがあります。これらを37ヶ所に分けて、**3年生が校舎1・2階の教室やホール、アリーナを使って地域の歴史や人物などを紹介**しました。3年生による講座は、3年間の地域学習の総まとめとして、「**地域を語る南二中生**」としての実力を存分に発揮して、これから地域学習を行う1年生がわかりやすいように工夫を凝らしたものばかり。パワーポイントを使って実際の写真を見ながら説明したり、クイズ形式はもちろん、エピソードを寸劇や変装を交えて表現したものもあり、1年生に大好評でした。



6人のパトラーと参加者の皆さん



図書委員長の〇〇くん

今回で6回目となるビブリアバトルが7月2日(火)の放課後に開催されました。ビブリアバトルとは、『**本を紹介するゲーム**』です。パトラーと呼ばれる発表者は5分の持ち時間の中で、本の面白さ、オススメのポイントなどを語ります。最後に、会場の参加者全員が「一番読みたい本」に挙手して、もっとも多くの人気を集めた本が『**チャンプ本**』となります。今回は図書委員から3人、校内から選抜された3人の計6人のパトラーが集まり、好きな本の魅力について発表しました。タイマー係の〇〇〇〇くん(3-2)の開始の合図でパトラーたちによるプレゼンテーションがスタートしました。

3年生の〇〇〇〇さん(2組)は、夢に現れた不思議な出来事を綴った短編集「**文鳥・夢十夜**」、2年生の〇〇〇〇くん(3組)は木がいいなあと木の良さを再認識できる絵本「**木はいいなあ**」、〇〇〇〇さん(2組)は、亡くなった姉の言葉が聞こえるようになった妹のちょっと不思議で切ない物語「**ふたり**」、1年生の〇〇〇〇くん(1組)は、怪異という

超常現象とともに過ごし成長していく主人公たちのおかしくも不気味な青春ストーリー「**化物語**」、〇〇〇〇くん(4組)は、チャーリーとチョコレート工場の作者が書いたユーモアと恐怖あふれる魔女の

はなし「**The Witches(英語版)、魔女がいっぱい(日本語版)**」、〇〇〇〇さん(4組)は、大富豪の宝を狙う怪盗ゴディバを追う名探偵ロイズと少年リンツの冒険物語

「**銃とチョコレート**」について紹介しました。

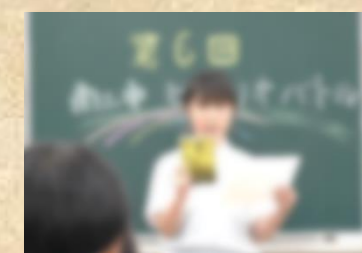
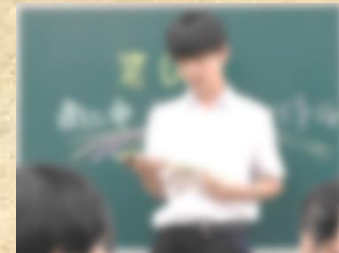
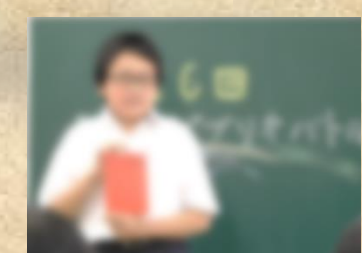
それぞれの発表の後には、パトラーと参加者の間で活発なディスカッションが行われ、会場となった図書館は大いに盛り上がりました。そして、図書委員の〇〇〇〇さん(3-3)の司会で参加者の挙手による投票が行われ、**第六回チャンプ本**には、スイーツの名前の登場人物たちが活躍する「**銃とチョコレート**」に決まりました。最後に、図書委員会委員長の〇〇〇〇くん(3-3)から「**いろいろな本を読んで、自分の世界をひろげよう**」という呼びかけがありました。

どの本も図書室にあります。この機会に読んでみませんか。



第6回チャンプの〇〇〇〇さん(左)と応援に来ていた時の〇〇さん(右)

パトラーの皆さん



保育園合同避難訓練

レスキュー部と近隣保育園の合同による避難訓練が7月1日(月)に行われました。これは、災害時に南千住二中が避難所になったことを想定して、毎年行われています。今回参加した保育園は、近隣の南千住七丁目保育園とおひさま保育園の2園です。レスキュー部員たちはビブスを着けて園児たちを迎えにそれぞれの保育園に向かいました。七丁目保育園には、スーパーレスキュー部部長の〇〇〇〇さん(3-2)が先頭に立ち、1、3年生のレスキュー部員が迎えにいきました。また、おひさま保育園には、同じくスーパーレスキュー部部長の〇〇〇〇くん(3-1)が先頭に立ち、2年生のレスキュー部員が迎えにいきました。園児の手を引いて南千住第二中まで避難誘導する途中には、車が行きかう狭い道路もあります。地震などの災害時に安全に誘導するには、園児を建物側にするか、道路側にする方がいいか、あらかじめ話し合いも行われました。その結果、車からも家屋の倒壊などからも園児を守るには、園児1人にレスキュー部員2人が両側に付き添い安全に配慮しながら手をつないで誘導する方法が現時点で最良となり、訓練に取り入れることになりました。世界のどこかで起きている災害を映像で見て、このとき、この場所で、自分はどうのように行動すれば、自分を、そして周りの人を助けることができるかを自主的に考え、実行しようとする精神がレスキュー部員たちに根付き、引き継がれています。

到着後は、1階の多目的室で折り紙や絵描きなどで一緒に遊び、2階のトレーニングルームでは、マットの上でボール遊びを行うなどして楽しくふれあう時間をつくりました。このように顔なじみになることで、万一の時にも園児たちは安心して迎えを待つことができます。最後に園児を保育園に送り届けて訓練は終了しました。今後も定期的に合同避難訓練を行い、地域とともに防災意識を高めていきます。

到着後は、ボール遊び、折り紙や絵描きで楽しくふれあいました。



安全を見守りながら、保育園から避難誘導

2年生 勤労留学

7月5日(金)から11日(木)までの5日間、2年生は勤労留学(職業体験学習)を行いました。1日目は、近畿日本ツーリストで団体旅行の添乗員として日々お客様に付き添いお世話をしている方を講師に招いて、あいさつや言葉づかい、態度などの社会マナーを学びました。午後からは、翌週から職場となる地域の事業所や商店などへあいさつに行きました。7月8日(月)から10日(水)までの3日間は、2~8人程度のグループに分かれ事業所に出勤し、実際に「仕事」を体験させていただきました。今回お世話になった事業所は33ヶ所におよび、職種はファストフード店や定食・とんかつなどの飲食店から、パン工場などの製造業、図書館、消防署などの公共機関、コンビニエンスストアやスーパー、ホームセンターなどの販売業、保育園などの保育施設、ホテルなどの宿泊施設、ディサービスなどの福祉施設、病院などの医療施設、寝具や衣料品などの生産・販売業、ヘアサロンやサービスステーションなどのサービス業まで多岐にわたりました。

様々な店舗が並ぶララテラスでは、制服姿でお店に立ち、元気あふれる声で接客したり、商品を棚に並べるなどの体験をしました。スーパーやコンビニでは、野菜の袋詰めや総菜をショーケースに並べたり、実際にレジに立ち、レジ打ちの練習などをしました。消防署ではあこがれの防火服に身を包み、緊急時の出動・消火活動の訓練などをしました。保育園ではプールや公園で遊んだり、給食を食べさせるなど、保育士さんと一緒に園児たちのお世話をしました。3日間の勤労体験を通して、「仕事」のやりがいや、「働く」ことの喜びやつらさを少しずつ感じ、大変多くのことを学ばせていただきました。5日目は、お世話になった事業所の皆さんへの感謝を手紙に託して届けました。勤労留学を通して、働くことが想像以上に苦勞が多いことを知り、毎日働いている家族への感謝の気持ちを新たにしました。これから将来を目指して、自分たちがやらなければならないこと、身につけなければならないことがわかり始めました。

お世話になった事業所の皆さん、本当にありがとうございました。

